

企業
団体様へ
ご案内

大学コンソーシアム京都

産学連携

教育プログラム

(旧インターンシップ・プログラム)

☑25年以上の実績 ☑約50の大学等の学生が参加 ☑大学教員によるきめ細かい指導

新たな感性に触れることができる!

エクスターンシップ(就業体験)
コース

自社の課題解決につながる!

プロジェクト企画実践
コース



受入企業・団体にも

メリット多数!

受入企業・団体の
満足度 **100%**

※2023年度

詳細は中面をチェック!



次世代の挑戦を支援し、
共に成長しませんか?

私たちは産官学地域連携のキャリア教育をめざしています。



公益
財団
法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

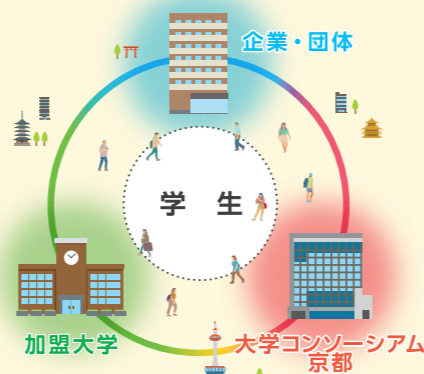
きょうで変わるプログラム



～私たちは産官学地域連携のキャリア教育をめざしています～

大学コンソーシアム京都の産学連携教育プログラムは、大学における学びの一環として位置づけ、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした産官学地域が連携して行う教育プログラムとして、1998年度より全国に先駆けて開始しています。

単なる就業体験にとどまらず、実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として実施しています。受入企業・団体、学生双方にメリットがあり、「社内の雰囲気が変わった」「社員の意識が変わった」など、例年多くの方にご満足いただいています。



今日で変わる、京都で変わるプログラムをぜひご利用ください。

本プログラムは2023年度まで「インターンシップ・プログラム」の名称で実施してきましたが、2022年6月に改正された「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(文部科学省、厚生労働省および経済産業省合意)に伴い、プログラムの名称を「産学連携教育プログラム」に変更いたしました。

実習生受入れのメリット



社内の活性化につながります!

実習生を受入れることで、指導を担当した社員の成長につながります。社内にいつもと違うメンバーがいることで、雰囲気を刺激したり、リフレッシュしたりしてくれるかもしれません。

新しいアイデアに出会えます!

若い世代が求めるサービスや商品について情報収集できます。学生ならではの新しい視点による企画提案が期待でき、新商品開発や業務改革などに取り組む絶好のチャンスです。

自社のPR・広報につながります!

実習生は将来、顧客や協力者になる可能性があります。様々な大学・短期大学の学生が参加するので、商品や社名を学生に認知してもらうことにより、宣伝効果が期待できます。

大学等との新たな関係が広がります!

プログラムを通じて、大学等との交流の機会が生まれ、産学連携の可能性が広がります。

自社の根本課題に取り組めます!

日常業務ではなかなか取り組むことができなかった自社の根本課題に取り組むきっかけとなり、新たな業務展開が期待できます。

社会と地域に貢献できます!

京都地域の学生の育成を受入先企業として支援することにより、社会的貢献となり、社会的イメージの向上を図ることができます。

大学コンソーシアム京都が窓口となって実施する

産学連携教育プログラム

エクスターンシップ(就業体験)コース
(旧ビジネスコース/パブリックコース)

プロジェクト企画実践コース
(旧長期プロジェクトコース)

3つのポイント

その1

さまざまな大学の意欲ある学生が参加

本プログラムは教育プログラムとして実施しており、回生を問わず、人文社会系・理工系・芸術系など多様で個性ある学生がチャレンジしています。京都地域を中心に約50の大学・短期大学の学生に、受入企業・団体の情報を広く周知しており、さまざまな大学の意欲ある学生と出会うことができます。

その2

リスク対策が万全で受入も安心

実習中の思わぬ事故や情報漏えい、トラブルなど想定されるリスクを防止、軽減するために、保険への加入、リスクマネジメント講習の実施、三者(受入企業・団体、学生の所属大学、大学コンソーシアム京都)による協定書の締結をおこなっています。

その3

充実の事前・事後学習プログラム

これまで20年を超える豊富な経験を活かし、実習の前に行う「事前・事後学習」では大学の教員が学生をサポートしながら、多様な実習先や学生の属性に対応した学習を実施します。業界研究や実習に向けてのマナー講習も実施するほか、実習中には大学教員が実習生の中間指導をおこなう等、受入先様とともに学生の成長をトータルに支援します。

コーディネーターからのコメント

リスク対策も万全だから受入れも安心です

京都女子大学 法学部 教授 桜沢 隆哉

本プログラムでは、学生に対して、開講時および実習に行く前にリスクマネジメント講習を実施しています。この講習は、実習中の思わぬ事故、情報漏洩、SNSトラブル、その他実習先でのトラブルなど、実習において想定される様々なリスクを把握し、それを防止、軽減するための内容となっています。また、

実習中の事故やケガに備えて、大学コンソーシアム京都において保険に加入するとともに、三者(受入企業・団体、学生の所属大学、大学コンソーシアム京都)による協定締結により危機管理体制を構築します。このように、派遣する学生に対して万全かつ十分な対策をしたうえで、実習にのぞませています。



新たな感性に触れることができる！ エクスターンシップ(就業体験)コース

(旧ビジネスコース/パブリックコース)

【ビジネスクラス/パブリッククラス】

【実践就業型実習(夏期)】

原則8月上旬～9月中旬に、企業・行政機関・非営利組織において2週間(実働10日)以上の実習を行うコースです。[事前学習]▶[実習]▶[事後学習]という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性や職業観を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指します。事前学習・事後学習では、ビジネスクラスは業界・業種別に、パブリッククラスは行政・非営利組織別にクラスを編成し、他大学の学生と共に、業界研究やディスカッション等を行うことで、目標達成に向かいます。

実習期間：8月上旬～9月中旬のうち、2週間～1ヶ月程度(実働10日間以上)



受入企業・団体からのコメント

富士フィルム
ビジネスイノベーションジャパン株式会社 京都支社

ビジネスクラス

私たちの活動が、少しでも学生の未来の一助になればと考えています

当初はすべて対面で計画していましたが、オンラインでの実施に変更となりました。対面で計画していた内容を急遽オンラインに切り替えて実施することへの不安が多々ありましたが、学生自身が参加目的と目標をしっかりと持ってプログラムに参加し、主体的に行動してくれたこと、そして、大学コンソーシアム様のご協力があり、日を追う毎に不安が解消されていきました。オンラインでの実施となっても、学生とのコミュニケーションをしっかりとできるように、朝礼、夕礼に加えて昼礼を加えました。そうすることで進捗度合いの確認や現状で困っていることなど適宜共有しながら進められた点は良かったと思います。またオンラインでは雑談の時間が取りにくくなりますので、伝える練習を兼ねて朝礼で2分間スピーチとしてテーマは自由に話してもらいました。そのおかげで趣味や関心のあること今熱中している事などパーソナルな部分についても共有ができて共通の話題でコミュニケーションも取りやすくなったと思います。毎年、参加した初日と最終日の学生の顔が全然違って成長を感じられる瞬間がいつも楽しみで嬉しく思っています。少しでも未来を担う学生の一助になればと考えています。



京都市
総合企画局総合政策室大学政策担当

パブリッククラス

職場の活性化や若手職員の育成、
取組のPRにも繋がる

「大学のまち京都・学生のまち京都」を推進する京都市では、大学での学びの一環として大学コンソーシアム京都が実施する「産学連携教育プログラム(旧インターンシップ・プログラム)」を重要な取組と考え、プログラムの創設当初から多数の実習生を受け入れてきました。その結果、実習生を受け入れることは、受け入れ側にも多大なメリットがあると実感しています。まず第一に、市の取組に対し、実習生ならではの視点や自由な発想からの意見に直に接することは、ややもすれば硬直しがちな職場の活性化に繋がります。加えて、実習生の指導に際しては、指導する若手職員自身が業務内容や全体のタスクの流れを正確に把握する必要があるため、若手職員の成長も期待できます。また、多岐に渡る行政の仕事に普段接点が少ない実習生に業務内容を知ってもらう良い機会になり、更には自分たちの取組をPRすることにもなるため、今後も継続して参加したいと考えています。実習生の受け入れには、一定の負担が伴いますが、是非、多くの企業や団体の方々に参加していただけることを願っています。



学生からのコメント

とても勉強になり、プログラム参加前より積極性が増したと思います。自分でも成長をしっかり感じる事ができました。



実際に業務を体験したことで、より明確な業界理解と自己理解が進んだように思います。



仕事への向き合い方を知ることができた10日間の実習は、とても大きな学びとなり充実していました。



社会に出たときに必要になる力について学べ、将来について自分自身と向き合うことができる非常に貴重な経験となりました。



登録から実習終了までの流れ

スケジュール	受入企業・団体	学生
11月下旬～4月	Web登録 「基本情報」「実習部署情報」登録	
5月上旬		出願 全出願学生に対し、大学コンソーシアム京都が面接を行います。
5月中旬	選考 選択した選考方法で選考を行います。 【コンソーシアム選考】 出願票と面接をもとに大学コンソーシアム京都が選考します。 【受入企業・団体選考】 貴社・貴団体において、書類や面接で独自に選考していただきます。	
6月初旬	選考結果通知 受入先担当者説明会	事前学習開始 業界研究やディスカッション等を通して実習の目的を明確にします。ビジネスマナーや実習時のリスクマネジメントについても学びます。(計18時間)
6月上旬～7月下旬	協定書の締結 貴社・貴団体、学生の所属大学、大学コンソーシアム京都で三者協定を締結します。	事前訪問
6月中旬	実習生の事前訪問のご対応 アポイントを取ったうえで、実習生がご挨拶に参ります。事前の打ち合わせ等をお願いします。	
7月		事前学習レポートの提出・確認 実習生が事前学習を通してレポートを作成します。ご確認をお願いします。
8月上旬～9月中旬	< 実習(10日以上) > 実習中、実習生の中間指導のためにコーディネーター(大学教員)が貴社・貴団体を訪問します。	
実習終了後	実習状況の評価 実習生に対する評価をお願いします。成績評価する際の参考といたします。	事後学習、実習経験交流会 実習の経験をふまえた発表等を通し、残りの学生生活を過ごすにあたっての課題を整理し、目標を明らかにします。(計6時間)
	事後学習レポートの提出・確認 実習生が実習、事後学習を通してレポートを作成します。ご確認をお願いします。	



実習プログラム事例

ビジネスクラス
(富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社京都支社)

- 1日目 オリエンテーション、会社概要紹介
- 2日目 商品紹介プロダクション、商品紹介文化推進関連
- 3日目 【営業実践】事前準備 顧客の課題調査、提案書の作り方
- 4日目 【営業実践】顧客訪問、顧客訪問振り返り
- 5日目 【営業実践】プレゼン資料作成、プレゼン練習
- 6日目 【営業実践】プレゼン資料作成、プレゼン練習
- 7日目 【営業実践】顧客訪問、プレゼンテーション、顧客訪問振り返り
- 8日目 【営業実践】お客様へのお礼状作成、若手社員との交流会
- 9日目 実習成果まとめ、発表資料作成、発表練習
- 10日目 【成果発表】資料手直し、発表練習、成果発表

パブリッククラス
(京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室)

- 1日目 オリエンテーション*、事業概要説明、イベント会議参加
- 2日目 係内会議参加、イベント会議参加
- 3日目 イベント会議参加、事務作業
- 4日目 イベント会場視察、摘録作成、外部との調整業務
- 5日目 中間学習会の資料作成、外部との調整業務
- 6日目 中間学習会の資料作成、イベントMC原稿の作成
- 7日目 広報資料の作成、イベントMC原稿の作成
- 8日目 イベントプロモーション動画に係る撮影ロケ参加、中間学習会*
- 9日目 イベントMC原稿の作成、企画書の作成
- 10日目 企画書の作成、外部との調整業務
- 11日目 企画書の作成、外部との調整業務
- 12日目 事後学習会の資料作成、イベントMC原稿の作成
- 13日目 事後学習会の資料作成、企画書の作成
- 14日目 企画書の作成、事後学習会*

*京都市で受け入れている実習生全員を集めて実施

受入企業・団体様の実習事例紹介はこちら

新規受入企業・団体様へのメッセージ等も掲載しています <https://consortiumkyoto-internship.jp/example/>



自社の課題解決につながる！ プロジェクト企画実践コース

(旧長期プロジェクトコース)

【長期課題解決型実習】

6月中旬から11月下旬の5か月間、企業・行政機関・非営利組織が提示するテーマの課題やプロジェクトに取り組むコースです。プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることが目標です。受入企業・団体が実習生に提示したプロジェクトのテーマ(課題)に沿って成果重視の活動を行うプログラムです。

 **実習期間：6月中旬～11月下旬の約5ヶ月間**



受入企業・団体からのコメント

関西巻取箔工業株式会社
取締役C.O.O 久保 昇平

プロジェクト企画実践コース
(旧長期プロジェクトコース)

目的を明確にすると受け入れやすくなる

“異分子”を入れることで、固定化された考えや視野を広げたい。それが、当社が受け入れを始めたきっかけでした。意図的にバックグラウンドの違う人を入れることで緊張感を生み、若手社員の仕事に対する意識向上を促す。そういった短期的な目的は、今のところ達成していると思います。中長期的には、実習生OB・OGが就職した先とビジネス関係になったり、転職先に当社を選んでもらったり、という繋がり成果を期待しています。本コースを選んだ理由は、せっかく受け入れるなら「仕事」というものの本質を学んで欲しいと考えたからです。経験のない学生に課題の解決や新しい企画の立案は難しい。それは当たり前のことですので、アウトプットのレベルは決めていません。一番大切なのは、「やりきった」という形・感覚を学生に持ってもらうこと。負担感が気になる場合は、目的を絞ってシングルイシューで募集されてみてはいかがでしょうか。



学生からのコメント


大学の学びだけでは実感することのできない社会全体の仕組みを社会人になる前に体感することができました。

プロジェクトとして社会の問題に協力して向き合う過程にも価値があることに気づかされました。

多くの交流で柔軟な物事の見方や変化に適應する力がつきました。

「動く」ということについてしっかり学習できました。自己理解が深まり、将来の展望も明るくなりました。

登録から実習終了までの流れ

スケジュール	受入企業・団体	学生
11月～1月末	プロジェクト実施調査票のご提出 プロジェクト内容のご検討(大学コンソーシアム京都にぜひご相談ください)	 出願 全出願学生に対し、大学コンソーシアム京都が面接を行います。
4月中旬	学生向け説明会・相談会 プロジェクト企画実践コース(旧長期プロジェクトコース)に興味のある学生対象の説明会です。個別相談会では、学生からの相談に直接ご対応ください。	
5月上旬		
5月中旬	選考 貴社・貴団体において、書類や面接で独自に選考していただきます。	
6月上旬～7月下旬	協定書の締結 貴社・貴団体、学生の所属大学、大学コンソーシアム京都で三者協定を締結します。	
6月上旬～11月上旬	<プロジェクト活動> 計画・企画・実施・振り返り プロジェクトを実施するにあたって、貴社・貴団体ご担当者、学生、コーディネーター(大学教員)が、ミーティングを行いながら、プロジェクトを進めていきます。ご担当者様に必ず出席いただきたい日程につきましては、別途ご連絡させていただきます。	
11月中旬	<プロジェクト・プレゼンテーション(成果報告会)> 貴社・貴団体ご担当者、コーディネーター(大学教員)、学生が一同に会し、プロジェクトごとにプレゼンテーションを実施し、交流を行います。	
実習終了後	実習状況の評価 実習生に対する評価をお願いします。成績評価する際の参考といたします。	
11月下旬	振り返り会 貴社・貴団体ご担当者、コーディネーター(大学教員)がプロジェクトを振り返り、次年度に向けた意見交換を行います。	
		事後レポート、プロジェクト報告書の提出・確認 実習生が個人で事後学習レポート及びプロジェクト毎にプロジェクト報告書を作成します。ご確認をお願いします。

プロジェクト一覧

(2024年度プロジェクト企画実践コース 登録企業・団体様)

脱炭素社会と再生可能エネルギー
100%実現に向けた調査・情報発信
特定非営利活動法人気候ネットワーク

～花背フィールドラボプロジェクト～
一般社団法人Impact Hub Kyoto

きょうのやましなさんプロジェクト
株式会社インサイトハウス

若者向けの就職情報フリーマガジン
「おっちゃんとおばちゃん」を悩める学生に発信しよう！
株式会社ユニオン・エー

「つくる」×「つたえる」のチカラを学ぼう！
関西巻取箔工業株式会社(KANMAKI)

学生向けワインセミナー企画・開催
株式会社ワイングロッサリー

Rediscovery Label おもしろい新商品シール開発
株式会社大槻シール印刷

サンガスタジアムのフードコートをバズらせろ！
株式会社MOTHERS

日本一小さな百貨店で考える持続可能な暮らし
つねよし百貨店

使用済み衣服回収BOXプロジェクト リリース・キャッチ
及び 循環フェスプロジェクト
～ソーシャルビジネスの実践と事業構築を立ち上げから学ぶ～
株式会社ヒューマンフォーラム



受入企業・団体様のプロジェクト紹介はこちら
<https://consortiumkyoto-internship.jp/long-term-project-course/#training-list>



加盟大学・短期大学一覧

国立大学

京都大学

京都教育大学

京都工芸繊維大学

公立大学

京都市立芸術大学

京都府立大学

京都府立医科大学

福知山公立大学

私立大学

池坊短期大学

大谷大学

京都医療科学大学

京都外国語大学

京都外国語短期大学

京都華頂大学

華頂短期大学

京都看護大学

京都経済短期大学

京都芸術大学

京都光華女子大学

京都光華女子大学短期大学部

京都産業大学

京都女子大学

京都精華大学

京都西山短期大学

京都先端科学大学

京都橘大学

京都ノートルダム女子大学

京都美術工芸大学

京都文教大学

京都文教短期大学

京都薬科大学

嵯峨美術大学

嵯峨美術短期大学

種智院大学

成安造形大学

同志社大学

同志社女子大学

花園大学

佛教大学

平安女学院大学

明治国際医療大学

立命館大学

龍谷大学

龍谷大学短期大学部

大阪医科薬科大学

京都情報大学院大学

放送大学・京都学習センター

2024年10月現在



公益 大学コンソーシアム京都
財団 法人 The Consortium of Universities in Kyoto

産学連携教育事業推進室

● 9:00~17:00 (日、月曜休館)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内

※京都市営地下鉄、JR・近鉄「京都駅」から徒歩7分程度

TEL. 075-353-9106 FAX. 075-353-9101

E-Mail : intern@consortium.or.jp

<https://www.consortiumkyoto-internship.jp>

大学コンソーシアム京都 インターンシップ

